

## 巻頭言

### 10月の行事をかえりみて

10月には幾多の行事が行なわれたが、その中の2、3についてふれてみたい。

まず第1に恒例の畜産共進会が津山市において開催されたことである。本年は豪雪に次ぐ長雨、集中豪雨のあとだけに、会期も例年より1日短かく、又附帯行事もなく質素に行なわれたが、関係者の御協力によって優秀な家畜を多数集め、所期の目的を果たすことができたことはまことに有難い。畜産共進会が、日頃育成管理した粋を集めて、その優劣を競うことは、種畜改良の面からもまた畜産の普及の点からもその効果は見逃すことができないものである。しかし育種改良が進み、能力検定や性能調査が行なわれている今日、共進会における個体の体型審査だけでは、改良の点からいっても不十分であり、また畜産が農業構造改善の主役となった現在において経営改善や流通機構整備等の対策が必要となってくる。これらの諸点を考慮して共進会のあり方についても十分な検討をなされなければならないと思う。

次に岡山県の観光と物産展が大阪の高島屋で6日間行なわれたが、畜産物としては牛肉・卵・ブロイラーが出品、即売され、連日好評を博した。特に牛肉は県営食肉市場から枝肉として初めて大阪に出荷されたものであり、岡山肉と銘うって大阪で売られるのも最初のことである。枝肉の阪神或いは東京方面に対する出荷が計画されている際でもあり、今回の試みが成功したことは誠に意義深いものがあるといわなければならない。

また同じく大阪で恒例の在阪道府県協議会主催のブロイラー共励会が行なわれたが、本年は岡山県出品のブロイラーが、農林大臣賞を獲得したのであって、まことに御同慶にたえない。ブロイラー産業は歴史が新しいがこの機会に改良に、生産に一層の御努力を望みたいものである。